

来月開局へ準備着々

【豊見城】市の地域コミュニティ放送局「FMとよみ」が三月二日に市豊見城で開局する。開局を間近に控え、県道7号バイパス沿いに構えたスタジオでは、安慶名雅明社長とアナウンサーの平田千春さんが、放送機材の調整や番組制作ボランティアの育成などに追われている。

FMとよみは市商工会に加盟する地元企業などが出資し、県内九局目のコミュニティ放送局として開局する。周波数は83.2メガヘルツで、市内ほぼ全域の二万六千世帯をカバー。近隣市町村の一部でも受信できる。放送時間は毎日午前七時から午後十一時まで、現在、本放送の開始に向けて試験放送を行っている。

安慶名社長は「地域文化や行事など、コミュニティFMならではの地域密着型の番組づくりを目指したい」と意欲的。番組制作には市シルバーク人材センターをはじめとする地域団体や地域住民など約六十人のボランティアスタッフが協力する。

FMとよみ 災害情報発信に力

「災害情報の発信には、特に力を入れていきたい」と、安慶名社長は力を込める。丘陵地の多い市内は台風時に道路冠水が起こりやすく、毎年市民を困らせている。この道路が冠水しているのかなど災害情報をいち早く届け、住民生活を守る放送局になりたい」と語る。

自ら放送局を持つことが子どものころからの夢だったという二人。平田さんは「八年間のフリーアナウンサーの経験を生かし、自分の声を通じた地域貢献をしたい」と目を輝かせる。開局日の三月二日には、関係者を招いて特別番組の生放送を予定している。問い合わせはFMとよみ、電話098(850)5517。

開局を間近に控え、機材の調整に追われる安慶名雅明社長（右）と平田千春さん＝豊見城市豊見城・FMとよみ

